

花まつりのイベント食を実施しました！

花まつりとは仏教の開祖・お釈迦様の誕生を祝う行事で、一般的には4月8日に行われます。お釈迦様は紀元前5世紀頃に、現在のネパール・ルンビニ園で誕生したといわれており、寺院ではたくさんの花で飾った花御堂（はなみどう）を作って祝うことから、花まつりと呼ばれるようになりました。

当院は見事な桜並木が自慢です。今年もあいにく、屋外の桜を愛でることは難しいですが、皆様に院内で花見気分を味わって頂けるような行事食にしました。春の味覚の筍御飯、ふんわり卵と、いんげんの彩り鮮やかな鱈の菜種焼きなどをご提供しました。デザートには薄紅色の桜風味ソースをトッピングした手作り杏仁ゼリーを召し上がっていただきました。



- *筍御飯
- *しんじょう椀
- *鱈の菜種焼き
- *菜の花の白和え
- *桜杏仁ゼリー

☆患者様の声☆

- ・美味しかったです！（同意見多数）
- ・筍御飯が優しい味わいでおいしかった。
- ・デザートの桜色がかわいいし、おいしかった！
- ・桜色のピンクがきれいね。母の味を思い出しました。
- ・甘いもの久しぶりだったから、よりおいしく感じました。
- ・春のものばかりで嬉しく食べました。ありがとう。
- ・花まつり。お釈迦様の日ね～。
- ちゃんとやってくださって、嬉しい！
- ・今日花まつりだったのね！
- 部屋からまだ桜が見れるのよ～うれしいわね。

当院自慢の桜並木



東京品川病院栄養科 スタッフ一同